

天皇杯

筑スポ

# 蒼越蹴球

## 目立ち越えられず

2013年9月4日(水) 19:00キックオフ  
日立柏サッカー場

柏レイソル[J1]

筑波大[県代表]

13分 クレオ  
22分 クレオ  
39分 橋本 和  
70分 太田徹郎

17分 中野嘉大  
87分 赤崎秀平

4

2

### 体験記

8月末に開幕した第93回天皇杯全日本サッカー選手権に筑波大学の蹴球部が出場した。見事回戦を突破した筑波大は、二回戦でJ1の柏レイソルとの試合を迎えた。今回はその試合の観戦バスツアーの様をお伝えしよう。

16時すぎに大学の本部棟の駐車場に集合すると、すでに大勢の人が列を作つて並んでいた。受付をすませると、応援歌などが書かれたバンフレットと、応援用のユニフォームを渡された。どうやら試合中はこれを着て応援するらしい。初めてのバスツアー、そもそも生でサッカーを観ることが初めてだった私は、胸を躍らせながらバスに乗り込んだ。

バス内では、選手たちのプライベートな話や、応援歌の練習などで盛り上がった。そして1時間ほど経ったところで、日立柏サッカー場に到着。案内された席はゴールの真後ろ、ピッチのすぐそばで、こんな間近でサッカーが観られると思うと、試合前から非常に興奮した。

9月4日、第93回天皇杯第二回戦が行われた。相手は2011年にJ1昇格一年目の初優勝を飾った、あの名門・柏レイソル(以下、柏)筑波大のレベルがどこまでプロに太刀打ちできるか確かめる良い機会だ。

試合は日立柏サッカー場で行われた。この試合の直前に柏の監督、ネルシーニョ監督が電撃辞任を発表していた。この試合後、辞任発表は撤回している。その為、筑波大OBである井原正巳ヘッドコーチが暫定監督として指示を出した。試合開始後、筑波大は相手陣営にパスが通っても、相手にボールを奪われ、あつという間にピンチに追い込まれる場面が多くあつた。その中、前半13分一瞬のスキをつかれ、柏のクレオ選手にゴールを許してしまう。柏の攻撃力の高さを思い知らされた。



(小峰朱理菜)

前半17分、相手のパスミス拾い、そのまま中野嘉大選手(体育3年、鹿兒島・佐賀東高)が相手を振り抜き、同点ゴールをあげた。筑波大が歓喜するもその後すぐに、サイドからのクロスにクレオ選手に合され、失点。前半終了直前にもコーナーキックから橋本

和選手に押し込まれた。柏が2点リードのまま、前半は終了した。後半は両チームとも得点を許さず、2点先制されている筑波大にとって歯がゆい時間帯が続いた。後半25分に柏の太田徹郎選手の鋭いシュートが決まり、決定打とも取れる4点目が決まった。筑波大惨敗、という言葉がよぎった。しかし、その中でも筑波大の選手たちはあきらめなかった。後半42分、中野選手をパスを受け取った赤崎秀平選手(体育4年、鹿兒島・佐賀東高)の鋭いシュートでゴールを奪った。このまま試合は終了。4-2で筑波大は二回戦敗退となった。2点差という試合結果ではあつたが、筑波大のパス回し、そしてそこからシュートを狙う流れはプロに十分通用している。



▲相手陣営でも存在感を発揮する赤崎選手

▼バスツアー参加者に挨拶する選手



# 筑波スポーツ

平成25年10月30日(水)  
第155号

題字:中山雅史氏  
(元サッカー日本代表・蹴球部OB)

# 夏の大会特集

## ダンス部

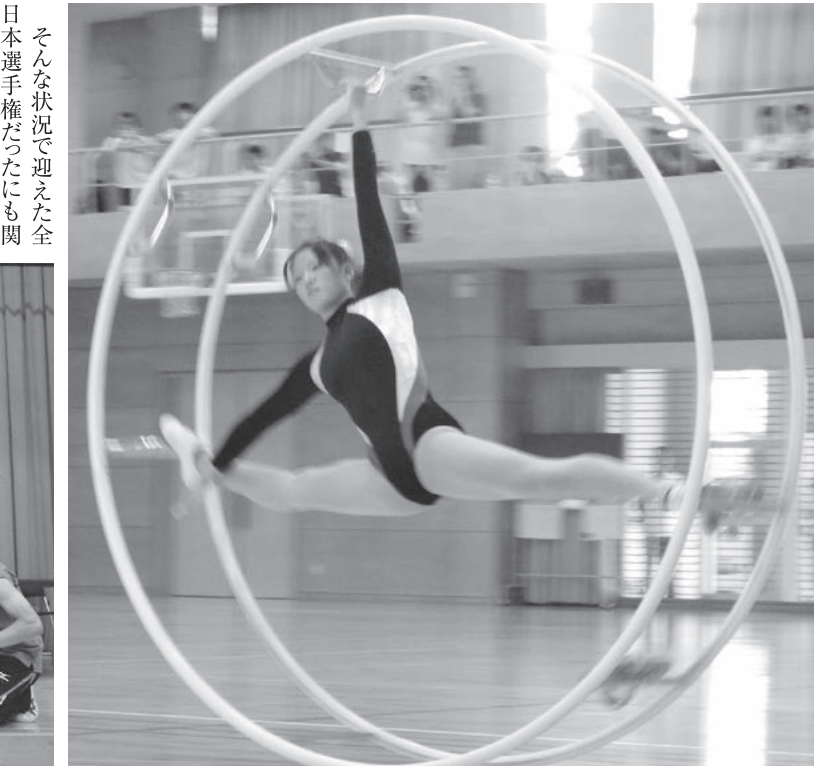
人にはそれぞれ、好みがある。審査員がダンスの評価をするとき、一切の嗜好を排除することは難しいだろう。だから、「好き嫌いを超えて評価される作品にすることが目標だ」と、ダンス部主将の伊藤麻菜実選手(体育3年・富山、小杉高)は話す。

8月7日・10日に神戸で行われた全日本高校・大学ダンスフェスティバルで、筑波大ダンス部は文部科学大臣賞を受賞した。これは総合得点が1位のチームに贈られる賞である。今回の受賞で3年ぶりの全国制覇、過去最多の10回目の受賞となった。作品名は『からだからー覚和歌子詩集よりー』。誰もが持っているから、だの大切さを見直してほしい、という想いを込めた。



伊藤選手に本番までの話を伺った。「作品はすべて何もないところから自分たちで作上げていく。先生には手直しやアドバイスをしてもら程度。何を伝えたいか、どのようにアプロウチしていくか、毎日夜まで話し合いを

## 体操部ラート競技



8月31日、9月1日と2日間に渡り行われた全日本学生ラート競技選手権大会。合計9つしかない表彰台の真ん中を、筑波大勢が独占した。主将の松浦佑希選手(体育3年・埼玉、聖母学園高)は、自由演技・規定演技のすべての部門で優勝という、これ以上ない結果を残した。しかし、本人は「今大会の目標は大きな減点をしないことだった。それなのに最終演技でラートから落ちたというミスをし、優勝はしたが悔いの残る演技になってしまった。すべての演技を完璧にすることは難しい」と改め、試合というものはそういうものだと思いが、この悔しさを来年につなげたい」と満足はしておらず、その視線はすでに次を見据えている。実は、この大会の約1ヶ月前、シカゴで行われた世界選手権に出場していた。世界選手権と全日本大学選手権とはルールが異なる。世界選手権を目標にずっと練習してきたため、短期間で計6個の演技プログラムを構成しなおす作業は大変だったそうだ。

そんな状況で迎えた全日本選手権だったにも関わらず、完全優勝を成し遂げてしまった。松浦選手のこの強さは何処から来るのだろうか。今回話を伺った短い時間の中で、彼女は「楽しい」という言葉を繰り返して使った。おそらくこの「ラートが楽しい」という気持ちがある。ラート競技は完全に好きでやっている。体操部のオフや授業の空き時間を利用して練習している状況。きちんとした指導者が居るわけではないけれど、先輩に教えてもらったり自分たちで考えながら練習したりして、自由にできるから楽しい。」



第9回全日本学生ラート競技選手権大会

## 陸上部



今年も陸上部は素晴らしい結果を残してくれた。9月6日・8日にかけて行われた第82回日本学生陸上競技対校選手権(日本インカレ)で、男子走り高跳びでは戸邊直人選手(体育4年・専大松戸高)が日本歴代5位タイ・大会タイ記録で優勝した。また、女子3・000m障害では中村真悠子選手(体育院1年・磐田北高)が日本学生新記録で優勝するなど、筑波大から多くの優勝者が誕生した。学校対抗では男子が4位、女子が優勝であった。

今年の日本インカレについて、男子ハンマー投げで優勝した保坂雄志郎選手(体育4年・松山高)に話を伺った。  
Q. 今年の日本インカレは筑波大としては満足のいくものであったか。  
A. 学校対抗では、女子は2位に大きく差をつけて勝つことができ、順当だったと言えますが、男子は大会前に予想した得点を下回ってしまった、目標の優勝に届きませんでした。男子にとつては悔しさが残るものとなりました。  
Q. 保坂選手個人として今大会はどうだったか。  
A. 自分の記録もそうでしたが、自己ベストが自分より良い選手もあまり伸びず大混戦となりました。昨年も同じような混戦となったのですが、優勝を逃しました。今年はそういった中でチャンスをものにできたので、これは大きな収穫になったと思います。  
Q. 優勝が決まるまでどういう心境だったか。  
A. 昨年と同じような展開でしたし、ほかの選手がもっと伸びてくると思っていたので油断せず冷静にしています。(岩佐拓哉)

ここからは普段の練習などについても伺った。  
Q. 普段の練習はどういったものなのか。  
A. 平日は18時まで、土日は午前午後ともに練習しています。まずはジャンプやランで体を温めて、それからウエイトトレーニングで体作りをします。それから投擲の練習をします。投擲の選手は体作りと実際に投げる練習をするのでどうしてもほかの種目の選手に比べて練習時間が長くなります。周りの部員が皆帰ってしまった中練習することもしばしばあります。  
Q. 現在4年生ということで進路はもう決まっているのか。  
A. 大学院に進んでさらに競技を続けていきます。大学院を卒業した後も実業団などでハンマー投げに関わっていけたらと思っています。(岩佐拓哉)

# 中央体育館

## 完成!

9月18日、体育の盛んな筑波大学に、またつ大きな体育施設が完成した。それが筑波大学中央体育館である。3階建てで、筑波大の体育施設としては最大級の規模だ。また、バスケットコートや体操場、トレーニング室のみならず、シャワー室や洗濯室も備えており、設備も非常に充実している。寝袋などを持ち込んで泊まり込みでスポーツをすることもできそうな環境だった。内部の構造も特徴的で、北館と南館に分かれていたり、北館の2階から1階が覗き込めたりと、これまでの体育館とは一風変わった部分もある。ここからは、その内部を少しだけ紹介しよう。

(鈴木優輔)



南棟の1階にあるバスケットボール場。写真は入口から撮影したものだが、かなり広いことが分かる。秋学期の体育の初回のオリエンテーションでも使用された。



中央体育館はトレーニング設備も充実している。写真は第一トレーニング場のものだが、他にも第二トレーニング場や器具室に多くの器械があり、まるでジムのようだ。



こちらは2階の会議室。体育専門学群が開設している講義や、部活動での話し合いなどに使われるのではないだろうか。



こちらは北棟の3階にある体操競技場。平行棒や吊り輪、あん馬、トランポリンなど、様々な器具が揃っている。体育で器械運動をとった人はここで授業を受けている。



運動設備だけでなく、洗濯室も備えている。シャワー室もあるため、この体育館で部活動やサークルの合宿を行うことも不可能ではないだろう。



体育館の外観。外から見ても、その新しき、綺麗な姿は歴然だ。体育で室内競技を選択して体育館を使っている人々には、是非とも大切に使用してほしい。

## みなで見よう! -双峰祭演武披露によせて-



### 鹿島神流武道部

私たちが「鹿島神流武道部」は、鹿島神宮に古くから伝わる古武術「鹿島神流」の保存と普及を目的に活動している団体です。普段は木刀と袋竹刀を用いて行う剣術と、素手で行う柔術を中心に稽古を行っています。また、懐剣・杖・槍・薙刀など、普段見聞しないような武具も使います。稽古は火曜日・木曜日の夕方と土曜日の午後に武道館で、そして平日の昼休みに生物農林学系棟前のテラスで行っています。試合は無く、神前である神社の境内で行う奉納演武や、学園祭などが主な発表場所となっています。

今年の双峰祭では2日間の演武と出店を行います。演武



### 心身統一合気道会

こんにちは、心身統一合気道会です。私達は月曜日・金曜日の朝7時〜8時の間と土曜日の朝7時半〜9時半の間、武道館第2多目的道場で稽古を行っている、サークルとしては珍しい朝練のみのサークルです。毎朝、人によつては眠気と闘いながら、和やかな雰囲気の中で活動しています。朝弱いから無理とついやるそのアナタ、朝練に参加するともなく一限に遅刻しないという特典が付きます。より会員はほぼ全員が大学から合気道を始めた人ばかりなので、基礎から丁寧に学べる。初心者で始めても合気道の段級取得が可能です。興味の有る方も無い方も、見学随時大

歓迎ですので、気が向いた時に武道館第2多目的道場へどうぞ。運動の出来る格好で来て下されば、稽古体験も出来ます。いきなり見学に行くのはちょっとという方や、合気道?何それおいしいの?という方は、双峰祭で演武を行うのでぜひ見に行きたいです。大会員同士でチームを組んでの演武、と全日本心身統一合気道競技大会出場時に行った演武をお見せする予定です。松美池横の芝生でひっそり行いますので、松美池ステージと間違えずにお越し頂ければ幸いです。皆様のお越しをお待ちしています。

(寄稿・赤石みずき)



### 合気道部

私たちが合気道部は、日々の活動を通して、合気道の技の向上とともに心身を鍛えることを目標に稽古を行っています。合気道は基本的に勝敗を決めないで、試合を行うことはありません。そのため、日々の稽古は互いの習熟度を合わせて技を繰り返し練習し、いかにして自分の技術を磨くかということに主眼が置かれます。部員はそれぞれの体格や特徴を生かした自分らしい技を目指して稽古に取り組んでいます。通常稽古に加えて、春は千葉、夏は長野で1週間程度の合宿を行います。部員は2年間をかけ、3年生までに初段(黒帯)の取得を目指します。試合がない代

わりに、日頃の稽古の成果は「演武」という形で披露します。主に学期ごとに締めくくりに演武を行うほか、新歓や学園祭では構内の芝生で野外演武を行っています。今年の双峰祭では、演武とラッフル屋を行います。演武は11月3、4日の12:30・13:30、場所

は松見池近くの芝生で行います。合気道の演武を間近に見られる数少ない機会ですので、ぜひご覧ください。また、11月2日の前夜祭はUNITEDス

テッジ近くの人間系学系棟前で、3、4日は松見池ステージの向かいラッフル屋を完売

ひ足をお運びください。お待ち

しています。

(寄稿・早川史織)

## 結果一覧

### 【硬式野球】

(首都大学秋季リーグ戦)

筑波大○514●城西大

筑波大○02●城西大

筑波大○70●城西大

筑波大○12●東海大

筑波大○13●東海大

筑波大○32●日体大

筑波大○23●日体大

筑波大○54●帝京大

筑波大○13●帝京大

筑波大○50●大東文化大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

筑波大○310●駒沢大

## 第2回 リレーコラム

リレーコラム第二回を担当します、副編集長の三浦です。7年後の自分を想像できるか、と今の自分に質問して、その答えは「ノー」とりあえず、東京五輪の開会式は生で見たいよなー、なんてぼんやり考えている秋の昼下がりのです。(三浦加奈絵)

次は筑波編集委員の鈴木優輔さんです。

# シーズン到来!! ウィンター スポーツ

# 特集



## アイススケート部

ウィンタースポーツがいに 2013 年のシーズンを迎 え、まさにスポーツの秋であ る。そこで今回は、アイスス ケート部の総合主将である 芦川大樹選手(知識 4 年)に お話を伺った。

アイススケート部はスピー ド部門とフィギュア部門に分 かれていて、スピード部門は、 オフシーズンの間はリンクが 空いておらず、筋トレやフォー ムの確認を中心に行うそう だ。一方、フィギュア部門は、 オフシーズンの間は千葉にあ るリンクを使用して練習し ている。そして、10 月からはシ ーズンに入る。ひたちなかのリ ンクで、週に 3 回、1 日 2 時間ほど練習する。練習後 は部員でご飯を食べに行くこ とが多いとのこと。人数は 14 人と比較的少なく、大学院 生で続けている人もいるが、 学年関係なく仲は良く、学 園祭でも部員で毎年店を出 している。

次に大会について伺った。 スピード部門、フィギュア部 門ともにシーズンに入つてす ぐの 10 月、11 月に県大会が 行われる。また、1 月、2 月にはインカレや国体などが ある。しかし、競技人口が 少ないため、大学から始めた 初心者でも、こういった大き な大会に出場することは十 分可能だそう。そして、 アイススケート部が最も重視 している大会が、3 月に行わ れる国公立大学対抗大会で ある。シーズンの有終の美を



## 男子 アイスホッケー部

スピードとパワーに溢れた プレーから「氷上の格闘技」 とも称されるアイスホッケー。 その魅力を探るべく、今回 は男子アイスホッケー部を取 材した。

男子アイスホッケー部は、 体育会系の部活でありなが ら推薦による選手獲得は行っ ていない。そのため、大学に 入ってからアイスホッケーを 始めた部員がほとんどだ。 それにもかかわらず、関東 国公立リーグでは毎年よう に優勝し、現在戦っている大 学リーグでも 1 部昇格を狙 える位置に居る。

練習環境も決して整ってい るとは言えない。近くにス ケートリンクがないため、練 習は主に車で 1 時間ほど離 れた場所、深夜に行ってい る。帰宅すると深夜 2 時、 3 時になることがほとんどだ そうだ。練習メニューから日 程決め、練習試合の申し込 み、会計まですべて選手主 体で行っている。1 年生にも それぞれ役割が与えられる ため、一人ひとりが責 任感を持って取り組んでい る。4 年間ずつと練習を続けられれば絶対に充 実の 4 年間になる。4 年間ずつ と一緒に過ごす大切な仲間も いる。

部員 19 人となつて戦う男子 アイスホッケー部にぜひ注 目してほしい。

(藤原真梨子)



## ワンダー フォーゲルクラブ

ワンダーフォーゲルクラブと いえば、主に夏の活動が思 い浮かぶだろう。しかし、冬 ならではの活動も盛んに行わ れている。今回は角田主輔 主将(生物 3 年、愛知・南 山高)に、お話を伺った。

ドイツ語で渡り鳥という 意味のワンダーフォーゲル。ク ラブの主な活動は登山である が、冬にはゲレンデスキーを 行うこともある。現在の部 員数は 17 人ほど。登山と聞くと、きつそうなイメージが 伴うが、女子も 5 人ほど所 属している。クラブの雰囲気 は自由な感じで、各々が充 実した活動を送っている。

冬の登山は基本的に希望 制。去年は 3 人ほど参加し た。夏の登山と違って、冬の 登山には多くの危険が伴う。 したがって、夏以上に登山に 向けての準備が必要になつて くる。

「夏山をしっかりと登ったり、 ロッククライミング等で研 究を行ったりする。ベースがあ るからこそ、冬山に登ること ができる。」と角田主将は 語る。ハゲ岳、日本アルプス、 甲斐駒岳、大日岳、赤岳な どが主な活動場所となるよ うだ。

注目の選手を尋ねてみる と、中村真理子さん(人文 3 年、栃木・茂木高)だそう。 「活動のたびに、スキルアップ しているな」と感じる。

角田主将自身、今年の夏 にヨーロッパアルプス登山を行 うなど、クラブ以外でも積

極的に活動している。今後の 抱負としては、アルプスやヒ マラヤなどの海外の山に登る ことだ。固い岩で登りやすい こと、登山家が多いことが理 由である。そしてなんといっ てもスケールが大きい、とい うことが番の理由のようだ。 クラブは年中通してさまざま な活動をしている。オール シーズン活動できるのも、ワ ンダーフォーゲルの魅力のつ だらう。部員の多くは大学 から始め、初心者でも大丈 夫とのこと。角田主将曰く、 「部員大募集です！」とのこ とだ。

(三浦加奈絵)



飾る、重要な大会となる。 そして、最後に今シーズンの 意気込みを話してくれた。 「1 年生が入ったので、上級 生の技術を伝えつつ、インカ レに出場できるようサポート すること、そして、部全体 でも、最後の国公立大会で いい成績が残せるよう練習を 重ねていきます。」

競技人口こそ少ないが、 氷上でのスピード感や、演技 の優雅さは大きな魅力。一度 会場に足を運べば、虜になる こと間違いなしだ。

(鈴木優輔)



### 編集後記

いよいよこの季節がやって 来ました。食欲と学問とス ポーツと盛りだくさんの秋 がやってまいりました。大学 自体も秋は大きなイベントが 盛りだくさんです。今回 3 面の特集もした筑波大学の学 園祭「雙峰祭」が開催され ます。広大なキャンパスをふ んだんに利用した大規模な イベントです。いつもとは違 う筑波大学の一面をのぞいて みてはいかがでしょう。そ の翌々週には、秋季スポー ツデーも行われます。春季同 様、熱い闘いがまた繰り広 げられるでしょう。静かに学 問に耽るもよし、学園祭で 遊ぶもよし、スポーツ・デー で汗を流すのもよし。それ ぞれの楽しみ方で大いに秋を 味わってみましょう!

発行所/筑波大学体育会  
(TEL.029-853-2589)  
発行人/綿谷 桂太  
編集/筑波スポーツ編集部  
tsukusupo@hotmail.co.jp  
責任者/小峰朱理菜(編集長)



編集長  
小峰朱理菜(人文 3 年)  
副編集長・会計  
三浦加奈絵(比文 3 年)  
主務  
中矢 圭(知識 2 年)  
広報  
武藤菜摘(比文 2 年)  
編集スタッフ  
大庭夏海(人文 4 年)  
湯地 遼(人文 4 年)  
矢畑 佳(人文 4 年)  
安部 隆虎(比文 3 年)  
島根 崇志(国際 2 年)  
鈴木 優輔(人文 1 年)  
岩佐 拓哉(工シス 1 年)  
藤原 真梨子(社工 1 年)  
撮影協力  
小平 義之(メ創 4 年)